

～～第7704回～～

焼津アルプス（瑞牆山を変更）

～H27.6.21～

雨季の天気予報は頻繁に変わる。前日の気象情報で、「大気不安定、雷雨も予想」と出たので、瑞牆山を急遽地元の焼津アルプスに計画を変更した。焼津アルプスとは、高草山(501m)・満観峰(470m)・花沢山(449m)の連山をいい、今年、市内の登山愛好家が自主出版した「焼津アルプス登山ガイド」でその名が一般に知られるようになった。コースタイムは5時間、それぞれの山間には、標高点が276mの鞍掛峠、302mの日本坂峠があり、低山と言っても結構なアップダウンを繰り返すコースである。現在、かんぼの宿下登山口から小浜峠付近までは崖崩れの心配があるため通行止になっているので、今回は花沢集落の駐車場から東名、R150、新幹線、東海道本線の下を通過して小浜の集落から登山を開始した。先ず小浜峠に登り、大崩の尾根伝いに大日堂、道了権現を經由し花沢山へ。更に日本坂峠、満観峰に至った。そこの東屋で昼食を取っていたら、雨が本降りになったので高草山への縦走を断念し、鞍掛峠を經由して花沢に下山した。この時期、花も終わり、また雨季で視界も悪く、駿河湾、伊豆半島、南アルプス、富士山の眺望はなかったが、ウグイスのさえずりを聞きながら夏山の訓練になって、また天候等で遠方の山を近場に変更するにちょうど良い山でした。

参加者：焼津8名

天候：曇りのち雨

地図：焼津・静岡西部

コースタイム：花沢710…大日堂810…花沢山910…満観峰1050－1130…花沢1230

記録：焼津支部 N. F